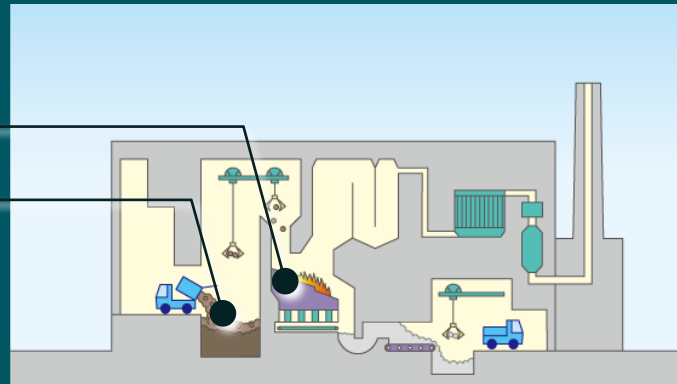


01 基本仕様

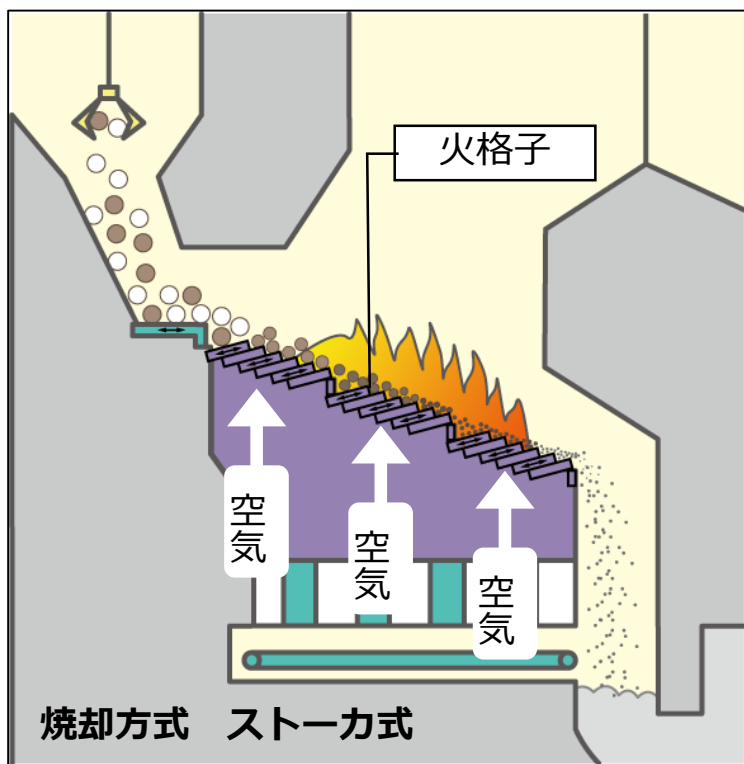
-1-

ごみ処理方式

計画ごみ質



ごみ処理方式 現施設と同じ焼却方式（ストーカ式）



ごみ処理方式は、基本方針で焼却方式のストーカ式とすることが示されており、基本計画検討会でもこの方式の特徴などを改めて確認しました。

ストーカ式は、可動する火格子を階段状に並べた焼却装置の上にごみを投入し、徐々に下に移動させながら焼却を行う方式です。

火格子が動くことで、ごみが攪拌され安定した燃焼を行うことができます。投入されたごみは、水分を蒸発させる「乾燥」、勢いよく燃える「燃焼」、最後まで燃やしきる「後燃焼」と進行して焼却されます。

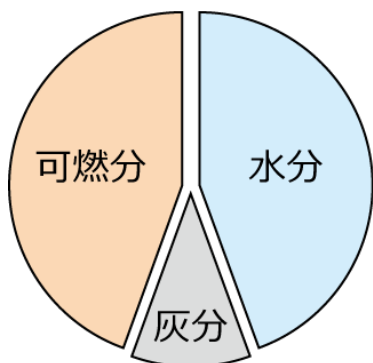
ストーカ式は、運転管理しやすいという特徴があり、安全・安定的にごみを処理できるなどのメリットから、多くの自治体で採用されている信頼性の高い焼却方式です。

計画ごみ質

将来のごみ質の変化にも対応可能に設定

計画ごみ質とは、新しい施設で処理することになる将来のごみの性質のことです。例えば、ごみを水分、灰分（燃えて灰になる）、可燃分（燃えて排ガスになる）の「三成分」に分けて、構成比を設定します。

計画ごみ質は、今までのごみの成分などのデータから、統計的に予測してるんだよ！



ごみの三成分

水分が多くなるほどごみは燃えにくくなるから、発熱量が小さくなるんだね！



		低質ごみ	基準ごみ	高質ごみ
発熱量	ごみ低位 (kJ/kg)	6,100	9,100	12,600
三成分	水分	57.20%	46.39%	35.23%
	灰分	5.91%	7.40%	8.95%
	可燃分	36.89%	46.20%	55.83%
単位体積重量	(t/m ³)	0.219	0.172	0.126
可燃分における 元素組成	炭素 (C)	49.95%	52.80%	55.64%
	水素 (H)	7.05%	7.49%	7.94%
	窒素 (N)	0.57%	1.03%	1.50%
	硫黄 (S)	0.02%	0.04%	0.05%
	塩素 (Cl)	0.43%	0.66%	0.89%
	酸素 (O)	41.98%	37.98%	33.98%